

# 周作クラブ会報

(第66号)  
2017年2月20日発行

## 周作クラブ

### ◆主な記事◆

新年会報告	2〜3面
原稿発掘	4面
連載樹座30年③	5面
長崎文学館便り	6面
長崎便り	7〜9面
原点の旅・決定	11面

### 遠藤周作と映画

## マーティン・スコセッシ監督の「沈黙」 「沈黙」公開を機に思ったこと

加藤 宗哉

マーティン・スコセッシ監督の「沈黙」の試写を五反田のイマジカ現像所で観た日、私の胸に浮かんだのは、やはり同じ場所での「深い河」(熊井啓監督作品)を遠藤周作先生とともに観たときのことだった。手帳で確認してみると平成七年二月十三日、先生がまもなく七十二歳になろうというときで、腎臓を病んだための腹膜透析はすでに開始されていた。外出もかなり制限されていたものの、この日は杖をひき、自分の足で会場へむかったのである。

観終つて帰りの車に乗り込むと、先生はしばらく口をひらかなかつた。当時は口数もずいぶん少なくなり、話すことが辛そうに見えることもあったから、私は映画について尋ねることを我慢していた。ところが車が目黒の近くへ差ししかかったところ、先生が聞きとれぬほどの低い声で、

「あのシーンは、よかつたなと私に言った。「奥田が、嗚咽するシーンは」

それは主人公の一人・大津を演ずる奥田瑛二が、ガンジス川へ死者を運ぶ一日を終えて石造りの粗末な家に帰り、壊れかけた扉をあけて寝所へはいり、そして祈りを唱え、硬いベッドに身を横たえた後のシーンのことである。俯瞰するカメラは、大津の体が徐々にエビのように丸まっていくのを捉える。両腕で膝を抱え込み、やがて大津の体が震えだす。彼は嗚咽を洩らしはじめているのである。異端の烙印をおされても自分の信ずるところに従つて毎日を生きているかのよう

に見えた男が、夜更け、固いベッドのうえで、堪えきれずに体を震わせて、嗚咽する。それは原作にはない場面だった。「あれは、よかつたな」先生はもう一度うなづくようにして、言った。「あれでいいんだ、映画は分かり易くしなければ」……その言葉が、「沈黙」を観終つた私に突然浮んできたのである。胸のなかには、スコセッシ作品「沈黙」の見事なラストシーンがあつた。日本人の姿をしたロドリゴが、桶に入れられて火葬にふされる。その掌には、かつてモキチがくれた粗末な小さい十字架があり、カメラはそれをクローズアップしていく。そのエンディングが見事だつたからこそ、試写を観終つた瞬間、誰もが思うように私も思った。

——先生に見せたかつた。  
しかしそこに被さるようにして、「あれはよかつたな……映画はあれでいいんだ」という声が届いたのである。そのとき私のなかに浮んだ先生のいかにも満足げな顔は、今も消えずにいる。

スコセッシ監督の「沈黙」を見せたかつたと思うのは、作品理解や映像、台詞のすべてにおいて最上質であつたということもあるが、何より先生が人一倍の映画好きだつたからである。それは灘中学(現灘高)の昔にはじまつていた。そして私の思い出す限り、晩年になつても映画への関心と情熱はいっこうに衰えなかつた。どれほど忙しくても映画館へ足を運ぶ、七十が近づいて闘病生活がはじまつてからは、もっぱらビデオを借りて観ていた。「もうあの店のビデオは全部観て、借りるものがなくなつてしまつた」とぼやいていたほどである。  
先生が六十一歳のときに、映画学校の

校長先生に就いたことは意外に知られていない。東京・調布の日活撮影所内の、監督やカメラマン、脚本家、俳優を育てる二年制の「日活芸術学院」(初期の名称は「にかつ芸術学院」)の学院長を、十年以上にわたつて務めていた。二十歳前後の学生たちと年に何度かは談笑する機会を持ち、特別講義では自分の気に入りの映画——たとえばある年はベルナルド・ベルトリッチ監督の「シエルタリング・スカイ」について八十分間も語つた。また、自分が原作の「海と毒薬」の助監督(といっても四番目)に学生を推薦して就かせたりした。そして新聞奨学生も多い学生たちの状況を知ると、「一人で勉強していれば大変なことも多いだろう。相談係になつてやつてくれ」と私に言い、おかげで私も映画を志す若者たちの仲間入りが出来たのである。

先日、二回目の「沈黙」を観に行つた吉祥寺のオデオン座で、私は終映後にある男性から声をかけられた。二十年以上まえの撮影科の卒業生であつた。すっかり中年になり、私に近いくらいに頭髪も後退していたが、映像の業界に籍を置いているという彼は、目を輝かせるようにしてこう言った。「昔、遠藤学院長から頑張れ、諦めるなよと言われたから、いまもこの仕事を続けているのだと思えます。今日の『沈黙』のような映画が作れたら素晴らしいでしょうね。諦めません」その言葉も、そのまま先生に聞かせたかつた。



映画学校スタジオでの遠藤学院長(1985)